

## 第6章 降下ばいじん量調査結果

大気中に浮遊している「ばいじん（※1）」や「粉じん（※2）」は、自重や雨の作用で地上に落下する。この落下したばいじんや粉じんを「降下ばいじん」という。

降下ばいじんについては、洗濯物や窓ガラスの汚れなどの苦情につながりやすいことから、大規模発生源のある地域において、大気汚染環境監視の一環として調査を実施している。

※1ばいじん：燃料その他の物の燃焼又は熱源としての電気の使用に伴い発生するすすや固体粒子

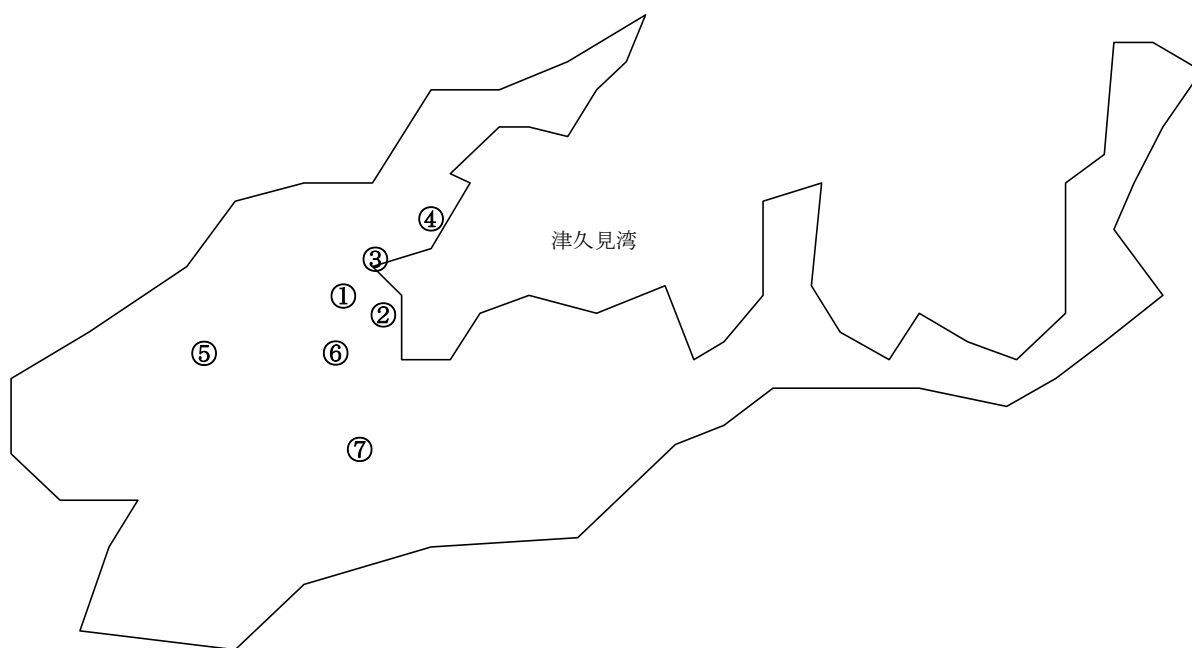
※2粉じん：物の破砕、選別等の機械的処理又は鉱石や土砂の堆積に伴い発生し、又は飛散する物質

### 〈調査地点・期間〉

調査地点：津久見市（青江小学校、入船公民館、徳浦公民館、堅浦、岩屋口、小園町、西ノ内）  
の計7地点

調査期間：令和2年4月～令和3年3月

実施機関：津久見市



①	青江小学校	⑤	岩屋口
②	入船公民館	⑥	小園町
③	徳浦公民館	⑦	西ノ内
④	堅浦		

〈調査方法〉

デボジットゲージ採取法で、1か月間に自重又は雨に伴って降下するばいじん・粉じんを捕集する。

〈調査結果〉

測定結果を表6-1に示す。

降下ばいじん総量の年平均値は、青江小学校で3.6 t/km<sup>2</sup>/月、入船公民館で4.7 t/km<sup>2</sup>/月、徳浦公民館で6.9 t/km<sup>2</sup>/月、堅浦で4.0 t/km<sup>2</sup>/月、岩屋口で3.1 t/km<sup>2</sup>/月、小園町で3.6 t/km<sup>2</sup>/月、西ノ内で2.6 t/km<sup>2</sup>/月であった。

降下ばいじん総量の7地点の年平均値は、4.1 t/km<sup>2</sup>/月であった。

表6-1 月別降下ばいじん測定結果(令和2年度)

調査地点	単位:t/km <sup>2</sup> /月												年平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
青江小学校	2.50	4.04	4.10	3.68	4.14	8.19	3.98	1.56	1.69	1.67	3.60	3.72	3.6
入船公民館	3.71	4.28	4.13	6.06	3.98	10.21	5.69	2.98	3.02	3.09	4.98	-	4.7
徳浦公民館	4.47	7.37	7.50	11.02	7.19	15.21	6.56	3.93	2.15	3.07	5.96	8.62	6.9
堅浦	3.06	2.53	2.92	3.82	3.07	11.73	4.19	2.13	2.71	3.09	4.18	4.04	4.0
岩屋口	1.73	3.67	3.71	3.96	2.86	6.48	4.15	1.21	1.24	1.50	3.23	2.99	3.1
小園町	2.53	3.16	4.02	-	3.18	8.83	4.48	1.76	1.99	1.73	4.92	3.41	3.6
西の内	1.76	2.24	2.12	1.92	1.65	7.67	3.22	1.23	1.58	2.02	3.46	2.26	2.6
月平均	2.8	3.9	4.1	5.1	3.7	9.8	4.6	2.1	2.1	2.3	4.3	4.2	4.1

(備考) 不溶解性分と溶解成分を合わせた総量

〈経年変化〉

過去10年間の年平均値(津久見市7地点(平成24年度は、8地点)の降下ばいじん総量の年平均値)の経年変化を図6-2に示す。

最小値は平成23年度の2.4t/km<sup>2</sup>/月、最大値は令和2年度の4.1 t/km<sup>2</sup>/月であり、近年は増加傾向の状況である。

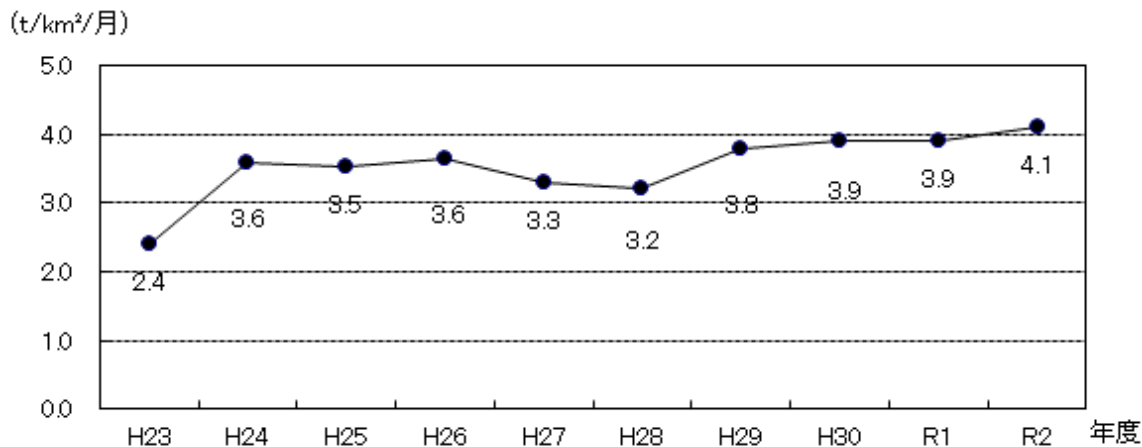


図6-2 降下ばいじん総量の年平均値の経年変化